

建設計画に係る平成20年度～22年度実施事業に関する意見に対する対応調書

地区名：国分寺

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当部局	担当課	対応策
国分寺地区	1	国分寺町文化施設（生涯学習センター）の整備	<p>○ 建設のための実施設計に向けた取組み 国分寺地区の住民の大半は、合併協議における、文化施設の整備について、建設計画の、「……文化施設の整備を図る」を「文化施設の新築整備を図る」と考えております。それは、合併時の町の施設整備準備状況（用地取得・基金積立・進入路整備）を見ますと、当然の結果だと思います。それに比べ、現在までの市の対応を見ますと、建設計画の解釈に、かなり、開きがあるように思います。そのため、実施設計に向けての協議に、なかなか、踏み込めない状態が続いているように思います。</p> <p>また、前回の審議会における大西市長のあいさつの中で、市長は、建設計画を忠実に尊重しながら実行すると述べるとともに、また、状況の変化に対応した柔軟な対応も必要であるとの発言もありました。</p> <p>しかし、文化施設整備は、国分寺地区にとっては、建設計画における最重要課題であるという位置付けから、忠実に尊重しながら実行していただく案件（新築整備）であり、建物の内容・用途などには、計画変更の要素を含んでいるものの、状況の変化に対応した柔軟な対応（新築以外の整備）には該当しないと考えます。</p> <p>このようなことから、今期間（20年度～22年度）は、実施設計に向けての協議期間と考えておりますので、建設計画の確実な実行を要望するものです。</p> <p>なお、実施設計の段階においては、地元市民の声も聞きながら、また、子育て支援・男女共同参画の活動の場、各種団体の活動の場になるという点も考慮していただき、国分寺地区を含む高松市西部地域の文化活動の拠点となるような施設を検討していただきたい。</p> <p>また、順次、開催している、高松市文化施設整備連絡会の会議内容については、整備計画の進捗状況を把握するために、重要であると考えておりますので、今後、速やかな公表に努めていただきたい。</p>	文化部	文化振興課	建設計画に記載されている国分寺地域の拠点となるコミュニティセンター機能も備えた文化施設について、平成19年度に庁内関係課で組織する「高松市文化施設整備連絡会」でその方向性を検討中であり、今後、既存施設の有効活用を含めた具体的な施設の規模・機能について検討していきたいと考えています。
国分寺地区	2	CATVの整備	<p>○ 国分寺地域への早期導入 平成19年度の調査結果を基に、今後の事業計画について、事業主体であるケーブルメディア四国と協議することになるとは思いますが、その調査結果および協議経過を、速やかに公表していただきたい。</p> <p>また、今後、早期に、国分寺地区へのエリア拡大を促進し、CATVによる市政情報の提供等情報通信機能の充実を要望します。</p>	総務部	広聴広報課	牟礼・庵治・香川・香南・国分寺の全世帯の約半数にあたる14,904世帯を対象に、合併地区ケーブルテレビニーズ調査を実施した結果、その33.5%の4,987世帯から回答があり、申し込みたいとの回答が45.0%（国分寺町は43.3%）の2,242世帯から得られました。今後、このニーズ調査結果や、事業主体である株式会社ケーブルメディア四国の経営状況を踏まえ、ケーブルテレビの整備が、全市域へのウルトラブロードバンド整備と深く関連していることから、本年度策定予定の高松市情報化推進計画（仮称）に、地域情報化の施策として位置付け、エリア拡大に取り組んでまいりたいと考えています。
国分寺地区	3	JR端岡駅周辺整備事業	<p>○ 事業の早期着工 JR端岡駅周辺整備事業については、旧国分寺町時代の経緯もあり、大変、難しい事業であると考えており、時間的にも長期間に渡るということは、当然、理解しております。</p> <p>しかし、今のままでは、慢性的な交通渋滞を解消することはできません。</p> <p>このようなことから、今後、利用者が増加することが予測されること、また、国分寺地区の公共交通機関の拠点・高松市の西の玄関になるという観点などを考慮し、現在、作成中の都市計画マスタープランの中で、これらの要素を勘案した上で、事業の方向性をまとめ、整備事業計画の作成に取りかかっていただきたい。</p>	都市整備部	都市計画課	建設計画や新総合計画等を踏まえ、現在、平成20年末を目途に都市計画マスタープランの見直しを進めています。昨年度は、国分寺地区など合併町を対象に、将来の土地利用や都市施設等の整備方針など、地域別構想について検討を行ったところであり、本年度に実施しております、市全体の土地利用や交通体系の方針など、全体構想との整合性を図る中で、JR端岡駅周辺地区の方向性についても、引き続き、検討します。
国分寺地区	4	教育環境の整備	<p>○ 国分寺中学校校舎の整備（北棟の改築・屋内運動場の新築）</p> <p><u>国分寺中学校北棟の改築（昭和37年から昭和38年建築）</u> 国分寺中学校北棟については、平成19年度より耐震補強工事に取りかかることとありますが、この工事によって、建物の損壊の危険は、一時的には回避できる処置と考えています。</p> <p>しかし、建築から45年が経過することから、老朽化による損壊の危険が、まったく解消されたわけではございません。</p> <p>今後、老朽化した校舎の改築については、全市的な中で、危険度の高い校舎から、順次、検討していくことになると思われます。</p> <p>そのような中で、マンモス校となった国分寺中学校の北棟については、緊急度や優先度を取ってみても、改築必要度は、非常に高いと思われしますので、早期に、改築事業計画に登載していただき、積極的に取り組むことを要望します。</p> <p>また、耐震補強工事についてですが、耐用年数に近い老朽化建物に、耐震補強工事を実施した場合、耐用年数がどう変化するのか。また、今後の対応方針は、どのようなものになるのか。お示しいただきたい。</p> <p><u>国分寺中学校屋内運動場の新築（昭和40年建築、919㎡）</u> 現在、国分寺中の屋内競技部は、バレーボール部など4競技部（男女8チーム）あり、屋内運動場だけでは十分な対応ができないため、国分寺体育館、B&G体育館・県青年センター体育館を借りて練習を行っています。中学時代は部活動も盛んで、多くの部員が、日々、活発に練習を行っております。</p> <p>ところが、肝心の屋内運動場は、築後42年ということもあり、古く、狭く、暗いということで、運動施設としての機能をほとんど果たしていません。</p> <p>平成19年度より、耐震補強工事に入りますが、工事が終了しても、大部分の競技部は、従来どおり、国分寺体育館等を中心に、練習することになるとは思います。</p> <p>また、社会体育施設のB&G体育館と県青年センター体育館の利用を続けるとなれば、両施設が遠方に位置している関係上、移動時での事故の危険性や練習時間のロスなどの問題を、今後とも、抱えていくことになります。</p> <p>このようなことから、今後の生徒数の増加等を考えれば、練習場所の不足は、依然として、解消されませんので、早急に、新規の施設整備に努めていただきたい。</p> <p>○ PC環境（パソコン）の整備充実 旧町時代、県内にさきがけ、PC（パソコン）を教育に取り入れましたが、今後、校内LAN等を構築して、PC（パソコン）の進化に対応した環境の充実を要望します。</p>	教育部	総務課 学校教育課	平成19年2月策定の「高松市立学校施設耐震化実施計画」に基づき、国分寺中学校北棟および屋内運動場については、今年度耐震補強工事を実施する予定です。また、施設の改築については、市内の全ての小・中学校および幼稚園の耐震化が完了後、その老朽度、緊急度を考慮しながら適切に対応していきたいと考えています。また、耐震補強工事は地震時における建物の耐震性能向上のための措置であり、その建物の耐用年数を延ばすものではありません。国分寺中学校の新規の施設整備については困難であり、引き続き、現有施設の有効活用を図っていただきたいと考えています。パソコン環境については、小中学校とも、合併前に、すでに校内LANが整備されておりますので、今後、新たなパソコン環境の必要性を踏まえ、全市的な視点から適切に対応していきます。

建設計画に係る平成20年度～22年度実施事業に関する意見に対する対応調書

地区名：国分寺

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当部局	担当課	対応策
国分寺地区	5	道路の整備	<p>○ 国分寺地区の市道等整備 国分寺地区の道路は、幹線の交通渋滞をはじめ、生活道路である市道の幅員が狭く、改良率が低いなど多くの問題を抱えています。そして、近年、商業施設・住宅・事務所等が数多く建築され、交通量が大幅に増加しています。そのため、毎日、ひどい交通渋滞を招いており、天候不順の時や朝夕においては、度々、危険な場面に遭遇することもあります。 このようなことから、交通渋滞の解消や交通弱者の安全確保の観点から、市道整備を、順次、取りかかっただきたい。建設計画にある6路線などに加えて、特に、整備を急ぐ市道として、国分寺中学校北側、市道上向田万灯線の整備（西門から県道国分寺琴南線にかけての一部）を要望します。 市道上向田万灯線は、中学校の西門から東側の市道端岡北谷線までについては、若干、拡幅工事がされておりますが、西門から西の県道国分寺琴南線にかけての一部（国分寺郵便局の南まで）については、ここ数十年、まったく改良・拡幅工事が行われておりません。それに関わらず、交通量は年々増加する一方で、危険度は増すばかりの状況でございます。</p> <p>○ 国分寺地区等の県道等整備 建設計画にある5路線の整備の中で、特に、整備を急ぐ県道として、県道国分寺琴南線から国分寺南部幼稚園への進入口周辺道路の整備を要望します。 この出入り口における交通渋滞は、慢性的であり、特に、建物の関係で、非常に出入り口の見通しが悪く、朝夕の送迎時や天候不順時においては、大変、危険な状況が幾度となく報告されています。</p>	都市整備部	道路課	市道上向田万灯線につきましては、国道沿いに大型スーパーがあり、スーパー利用者等が裏道として利用するなど交通量が多くなっていることは認識しています。今後、この改良事業につきましては、請願道路としての取り扱いになりますので、代表者を決めていただく必要があります。その後、土地所有者、水利関係者等の同意が得られるようであれば、事業を計画していきたいと考えていますが、本路線の学校橋の拡幅に関しましては、県管理の本津川の河川改修の関係がございますことから、今後、県と協議してまいります。 県道等の整備につきましては、道路管理者であります県に対し要望していきたいと考えています。
国分寺地区	6	自然環境の整備	<p>○ 自然環境の保全と活用 国分寺地区は、自然と共生したすばらしい生活環境にあるが、里山の荒廃が進んでいる。 住民参加団体の組織化を促し、団体の育成に努め、全市的な里山の保全と活用の推進を要望します。</p>	産業部	農林水産課	身近な自然環境である里山は雑木林として利用されていましたが、現在はそれらの利用がなくなるとともに、労働力不足等から手入れが行き届かなくなっています。里山林の荒廃を防止するために「ボランティア団体」による森林整備の実践活動や知識・技術の向上の促進等を通じて、里山林の再生整備を実施するとともに、多くの方に里山への興味を持ってもらうために、各種イベントの際には、自然への関心を深めていただくための啓発活動をも推進していきたいと考えています。
国分寺地区	7	特別史跡讃岐国分寺跡等文化財の保存と活用	<p>○ 特別史跡讃岐国分寺跡の日常的な維持管理と尼寺跡窯跡等指定文化財の一体的かつ総合的な保存・整備、活用計画の策定を！</p> <p>「四国八十八ヶ所を世界遺産に！」との運動が盛り上がりを見せているが、白牛山国分寺を含む讃岐国分寺跡は、特別史跡に指定されており、重要文化財も3件あるなど、八十八ヶ所の中では、特筆すべき位置にあるものと考えます。 こうした点からも、史跡地の日常的な維持管理やその意義を発信する資料館の活動は、大切です。今後は、より注目を集めるものと考えられことから、地域住民や来訪者に、より親しまれるよう、細心の注意を払い、史跡地の管理に努めていただきたい。 さらに、讃岐国分寺を中心に、古代讃岐文化の中心地として、周辺に点在する史跡や、文化財を含めた総合的な保存・整備、活用計画の策定を要望します。 また、地元を中心とした史跡地活用事業にも、積極的な支援を要望します。</p>	文化部	文化振興課	特別史跡讃岐国分寺跡史跡・史跡讃岐国分尼寺跡史跡の公有化を推進し、公有地を中心に計画的な発掘調査に努め、讃岐国分寺跡等の全容解明を図るとともに、広く市民のために歴史・文化財の学習と憩いの場として、同史跡の保存と活用に努めます。 また、讃岐国分寺跡を郷土の財産とし、多くの人にPRしていくため、引き続き「讃岐国分寺史跡まつり」への支援を行っていききたいと考えています。
国分寺地区	8	地域間交流の促進	<p>○ 国分寺地区の文化と歴史的環境を生かし、全国にある国分寺跡など、他の地域との交流を積極的にに行い、観光および産業の振興を図るため、友好・親善活動への積極的な支援および援助を要望します。</p>	総務部	庶務課	住民や民間団体の主体による地域間交流について側面的な支援を行うなど、幅広い交流活動の促進に努めます。
国分寺地区	9	コミュニティ活動の支援	<p>○ コミュニティ活動の円滑な運営 コミュニティ活動を活性化し、地域課題への解決力を向上させるために、地域コミュニティの組織化が急務とされていますが、そのためのコミュニティ協議会の立ち上げと、円滑な運営について、予算面での配慮を強く要望します。</p>	市民政策部	地域振興課	コミュニティ協議会の立ち上げについては、高松市地域まちづくり交付金の事務費部分を活用するとともに、組織構築後には、コミュニティ構築支援事業補助金（20万円/年、2年間）や、まちづくり活動支援事業補助金（20万円/年、3年間）を活用し、円滑な運営に取り組んでいただきたいと考えています。
国分寺地区	10	子育て支援サービスの充実	<p>○ 放課後児童クラブの整備 現在、放課後児童クラブを、北部校区52名、南部校区83名の子どもたちが利用しています。 しかし、特に、南部校区においては、児童人数に対して、職員数が少なく、また、施設も狭く、安全快適な指導が困難な状態となっています。 市の方針として、要請があれば、何人でも受け入れるとのことですが、今後も、さらに、増えていくことが予想されますので、現況に応じた適切な人員・施設の整備を要望します。</p>	健康福祉部	こども未来課	放課後児童クラブの職員数は、指導員配置基準により児童数に応じた職員配置をしており、児童が安全で安心して過ごせるよう努めています。

建設計画に係る平成20年度～22年度実施事業に関する意見に対する対応調書

地区名：国分寺

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当部局	担当課	対応策
国分寺地区	11	社会体育施設の優先使用の再延長	<p>○ 国分寺中学校のクラブ、各種団体の施設不足への対応</p> <p>○ 学校体育施設開放運営事業で使用している施設のうち、南北両小学校改築期間中の対応</p> <p>社会体育施設の優先使用の延長については、前回の審議会において、平成20年度までという回答をいただいております。</p> <p>しかし、平成20年度からは、国分寺南北両小学校の屋内運動場の改築が始まるため、学校体育施設開放運営事業で使用している施設不足への対応、また、平成21年度以降の中学校の社会体育施設の優先使用の有無などの問題が発生しております。</p> <p>これらについては、多くの団体等が関係することから、どのように対処するのか、その対応状況を、事前に、広く、周知していただかなければなりません。</p> <p>なお、上記のこともあり、当面、社会体育施設への依存度が高くなることが予測されますし、スポーツ少年団・体育協会・中学生のクラブなど競技人口に対し、運動施設が他の地区に比べ、不足している現状を踏まえ、再度、社会体育施設の優先使用の延長を要望します。</p>	教育部	総務課 学校教育課 市民スポーツ課	<p>社会体育施設の優先使用については、合併協議により、平成20年度までとなっておりますが、中学校の授業・部活動、町体育協会主催大会について（全面使用で6時間以上の場合）は、高松市の制度に基づき、優先団体として取り扱うこととする予定です。</p> <p>なお、国分寺体育館については、現在の使用状況（平日の午前9時から午後6時もしくは午後7時までは中学校優先使用）および平成21年度から減免措置がなくなることから、学校体育施設への所管替えについての検討を行います。</p> <p>また、国分寺南部小・国分寺北部小改築時の対応については、工期等決定次第、学校開放運営委員会へお知らせしますが、学校行事等子どもたちが施設を使用できない中で、大人の一般開放としての代替施設の確保や斡旋は行っていませんので、その旨を両小学校学校開放運営委員会へ周知していきたいと考えています。</p>
国分寺地区	12	公共交通の整備	<p>○ コミュニティバス等運行事業</p> <p>国分寺地区で、現在、運行されているコミュニティバス利用促進のための打開策をさぐるため、昨年、アンケート調査が実施されました。</p> <p>また、今年の春、コミュニティバス等利用促進協議会が設置され、アンケート結果や、利用者等の意見を参考に、現行の利用頻度によるコースの見直し、他の交通機関との連携、目的地までの時間短縮を図るなど、運行形態の見直しがされているようにお聞きします。</p> <p>このコミュニティバスは、国分寺地区の南北を結ぶ唯一の公共交通機関であり、利用者には、かけがえのないものであり、単に、交通弱者の足としてだけでなく、地域住民の生活手段としても、必要不可欠なものです。</p> <p>今後、より多くの人たちが活用できるような、見直しを希望するとともに、将来にわたり、引き続き、存続されるよう強く要望します。</p>	都市整備部	都市計画課交通政策室	<p>国分寺町コミュニティバスについては、国分寺地区コミュニティバス等利用促進協議会において、利用率向上に向けた改善案を取りまとめ、試験運行に取り組んでいるところであり、今後とも、同協議会において、利用率向上に向けた協議を行います。</p>